

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和7年3月24日(2025.3.24)

【公開番号】特開2024-26034(P2024-26034A)

【公開日】令和6年2月28日(2024.2.28)

【年通号数】公開公報(特許)2024-037

【出願番号】特願2023-67080(P2023-67080)

【国際特許分類】

G 0 1 N 2 7 / 4 1 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 N 2 7 / 4 0 9 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 N 2 7 / 4 1 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

G 0 1 N 2 7 / 4 1 3 2 5 H

G 0 1 N 2 7 / 4 0 9 1 0 0

G 0 1 N 2 7 / 4 1 6 3 3 1

G 0 1 N 2 7 / 4 1 6 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月13日(2025.3.13)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

軸線方向に延び、後端側外表面に電極パッドを有するセンサ素子と、
前記軸線方向に延び、前記電極パッドに接触部を介して電氣的に接続される端子金具と

前記軸線方向に延び、前記端子金具の後端側を保持する筒状のセパレータと、
を備えるガスセンサであって、

30

前記端子金具は、前記軸線方向に交差する方向に伸びるストッパ部を備え、

前記接触部及び前記ストッパ部が前記セパレータの内部に収容され、

一の前記電極パッドと、それに接続される一の前記端子金具との組において、前記センサ素子の幅方向に沿って見たとき、前記セパレータの一方の内面と最も近い前記一の電極パッドの端部をパッド端とし、前記パッド端と前記接触部との距離をDAとし、前記セパレータの前記一方の内面と前記ストッパ部の先端との距離をDBとしたとき、 $DA > DB$ を満たすことを特徴とするガスセンサ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明のガスセンサは、軸線方向に延び、後端側外表面に電極パッドを有するセンサ素子と、前記軸線方向に延び、前記電極パッドに接触部を介して電氣的に接続される端子金具と、前記軸線方向に延び、前記端子金具の後端側を保持する筒状のセパレータと、を備えるガスセンサであって、前記端子金具は、前記軸線方向に交差する方向に伸びるストッパ部を備え、前記接触部及び前記ストッパ部が前記セパレータの内部に収容され、一の前記電極パッドと、それに接続される一の前記端子金具との組に

50

において、前記センサ素子の幅方向に沿って見たとき、前記セパレータの一方の内面と最も近い前記一の電極パッドの端部をパッド端とし、前記パッド端と前記接触部との距離を D_A とし、前記セパレータの前記一方の内面と前記ストッパ部との距離を D_B としたとき、 $D_A > D_B$ を満たすことを特徴とする。

10

20

30

40

50